

指定管理者評価シート

事業名	こども劇場管理運営	所管課(電話番号)	子ども未来局子ども育成部 子どもの権利推進課(211-2942)
-----	-----------	-----------	-------------------------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市こどもの劇場 やまびこ座	所在地	東区北27条東15丁目1-1
開設時期	昭和63年(1988年)6月	延床面積	1495.37㎡
目的	人形劇、児童劇等の制作及び発表と制作団体の育成を通じて、青少年の情操のかん養を図り、もってその健全な育成その他活動に資する。		
事業概要	人形劇等の制作・発表の場の提供、人形劇等の制作に関する指導ならびに資料収集・情報提供、講習会・展示会・講座		
主要施設	ホール、会議室(1室)、研修室(1室)、美術工作室(1室)、ロビー・展示室		
2 指定管理者			
名称	公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会		
指定期間	平成30年(2018年)4月1日～令和5年(2023年)3月31日		
募集方法	非公募 非公募の場合、その理由:札幌市こどもの劇場「やまびこ座」は、全国でも数少ない子ども専用劇場として、子どもを対象とした人形劇、児童劇等を専門に取り扱う施設であるという特殊性から、指定管理者には貸館業務にとどまらず、専門的知識や豊富な経験を有する適正な人材を確保し、指定管理者自らが人形劇、児童劇等の制作及び発表を行うこと、並びに担い手である制作団体を育成することが求められ、特に担い手の育成については専門性と継続した取組が不可欠であるため。		
指定単位	施設数:1 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	施設維持管理業務、事業の計画・実施業務、施設の使用承認業務等		
3 評価単位	施設数:1 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

II 令和元年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価				
1 業務の要求水準達成度							
(1)統括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <p>「未来ある子どもたちの夢をはぐむ劇場づくり」 札幌市こどもの劇場やまびこ座は、『人形劇、児童劇等の制作及び発表と制作団体の育成を通じて、青少年の情操のかん養を図り、もってその健全な育成その他の活動に資すること』を目的に設置された施設である。 全国的にも珍しい子どものための専門劇場であり、子どもたちが人形劇や演劇等に親しみ、笑顔あふれ、夢を持って育つことを願い、運営を行うことを基本方針として策定した。</p> <p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <p>人形劇や演劇等の子どものための舞台表現活動を行う団体に対して広く開かれ、優れた作品を安価で上演できる劇場運営を基本方針とし、劇場の職員として、子どもとその家族が中心の観客を温かく迎え入れる役割を持つと同時に、そこで上演する団体の支援者となることに努めた。</p>	<p>施設設置の理念に基づき、基本方針を策定した。市民にとっての劇場のあり方と、地域における劇場の役割を具体化し実践した。また、当方針を達成するため全職員が意識を1つにして、親しみやすい温かな雰囲気劇場作りに努めた。</p>	<table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;">A</td> <td style="width: 25%;">B</td> <td style="width: 25%;">C</td> <td style="width: 25%;">D</td> </tr> </table> <p>施設の設置目的及び役割等を踏まえた基本的な方向性が明確化された方針となっている。 また、施設の特徴を踏まえ、平等利用とともに、専門性を供いながらも市民目線のサービス提供が積極的になされている。 今後も施設の設置目的に基づいた施設管理を継続して行っていくこと。</p>	A	B	C	D
A	B	C	D				

<p>▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進</p> <p>環境行動マニュアルに基づき、環境を意識して業務を推進した。</p> <p>昨年度の改修工事により照明器具や空調機器が更新されているため、適温や省エネとなる設定を模索した。環境配慮行動を職員や利用者に周知し、エネルギー使用量の削減に努めた。</p> <p>▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 統括責任者を1名配置した。 ▼ 事務分掌、緊急連絡体制等を定めた。 ▼ 人材育成 <p>(1)派遣研修(劇場運営関係)</p> <p>国内外の人形劇関係機関及び児童文化関係施設との連携を密にすることで、職員の専門性向上に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災地支援活動「福島県への継続文化支援活動」における職員派遣 <ul style="list-style-type: none"> ①9月19日(木)～21日(土) 職員5名 ②10月5日(土)～6日(日) ※来札対応 ③12月13日(金)～21日(土) 職員5名 ④2月11日(火)～16日(日) 職員2名 ・被災地支援活動「胆振東部地震復興支援in厚真町」 2月23日(日) ※新型コロナウイルスにより中止 ・人形劇「OKHOTSK(オホーツク)」欧州公演 5月14日(火)～27日(月) 職員3名 ・「いいだ人形劇フェスタ2019」派遣交流事業 7月29日(月)～8月4日(日) 職員5名 ・「こども文化セミナー」参加 9月6日(金)、11月30日(土) 職員5名 ・「こどものまなび塾」参加 10月3日(木)、11月7日(木) 職員8名 ・舞台音響家のための公開研修参加(東京) 11月29日(金)～12月2日(月) 職員2名 ・第11回砂川人形劇フェスティバル 3月14～15日 ※新型コロナウイルスにより中止 <p>(2)公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会職員研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危機管理研修 ・階層別研修(係長研修等) ・目標設定に係る面談 ・実務研修 <p>▽ 管理水準の維持向上に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 都度ごとの担当者会議のほか、月1回の定例的な職員会議を実施し、情報の共有及び業務の改善、事業の見直しを行った。また、日常的に情報を共有できるよう、コミュニケーションの円滑化に努めた。 ▼ 日常業務のブラッシュアップを全職員で行い、業務効率の向上を図った。また、施設点検による安全面の確認を行った。 ▼ 職員によるプロジェクトを組織し、職員一人ひとりが業務の質を上げ、先見的な方向性を打ち出せる人材の育成を目指した。 <p>▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 下記の業務について再委託を行い、当該契約に基づき、必要な指導、指示及び検査を行った。 	<p>環境行動マニュアルに基づき、各エネルギー(電気、水道、ガス等)の節約に努め、施設運営を行った。</p> <p>管理業務を適切に行うため、人形劇や児童劇、舞台、照明、音響に係る専門職員をはじめ、管理に係る職員を適正に配置し、組織を確立した運営を行った。</p> <p>劇場職員として専門性を高めるため、児童文化関連施設や各種事業・研修会に職員を派遣し、職員一人ひとりが創造者として利用者と関わるべく多様な場で研鑽に努めた。</p> <p>公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会職員研修計画に基づき、各職員の資質向上を目指した研修を実施した。</p> <p>今年度から新たにプロジェクトを組織した業務改善を行い、劇場職員としての意識向上と、人材育成の両面から成果に結びつけることができた。</p> <p>施設の良好な維持管理のため、事前に承認を得た業務について専門業者への再委託を行った。</p>	<p>管理運営組織は適性に確立されており、緊急時の体制も整っている。</p> <p>派遣研修に関しては、子どものための専用劇場という特異な施設であることを念頭においた十分な事業が実施されている。</p> <p>加えて、指定管理者としてふさわしい資質を備えた職員育成のための研修についても実施されている。</p> <p>今後も継続して、職員の資質を向上させ、利用者満足等に反映されるように努めること。</p> <p>業務改善に向けた新たな取り組みを実施したことは評価できる。引き続き、情報共有や日常業務の見直し改善を継続するとともに、管理水準の維持向上に努めていくこと。</p>
---	---	--

	業務名	契約業者名	実施月	契約方法
1	清掃	東亜産業(株)	通年	指名競争入札:複数年
2	機械警備	帝国セキュリティ(株)	通年	指名競争入札:複数年
3	自動扉保守点検	三和シャッター工業(株)	9・11・3月	随意契約(特命):複数年
4	空調衛生設備保守点検	パナソニック産機システムズ(株)	6・10月	随意契約(特命)
		(有)ケンブラック	1月	随意契約(特命)
		北菱産業埠頭(株)	2月	随意契約(少額)
5	オーバースライダードア保守点検	三和シャッター工業(株)	9・11・3月	随意契約(特命):複数年
6	消防用設備等保守点検	(株)ヤシマ保全	4・10月	指名競争入札:複数年
7	舞台吊物及び照明設備保守点検	(株)池下電設	7・2月	随意契約(特命)
8	舞台音響設備点検業務	(株)池下電設	7・2月	随意契約(特命)
9	除排雪	(株)北海道北環境	12~3月	指名見積合せ
10	自家用電気工作物保安管理	大崎電気管理事務所	通年	指名見積合せ:複数年
11	塵芥収集	(一財)札幌市環境事業公社	通年	随意契約(特命)
12	建築基準法12条に基づく点検	(株)ヤシマ保全	9月	随意契約(少額)

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議・報告内容
運営協議会 (第1回) 11月8日	・こどもの劇場改修工事後の状況 ・令和元年度上半期事業報告 ・施設運営についての協議
運営協議会 (第2回)	・令和元年度下半期事業報告 ・施設運営についての意見集約 ※新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から書面による報告と意見集約とした。(当初実施予定3月18日)
<p><協議会委員> 札幌人形劇協議会代表、東区市民劇団オニオン座代表、やまびこ座読み語りの会会員、小樽商科大学特任名誉教授、札幌市子ども未来局子どもの権利推進課長、札幌市こどもの劇場館長、札幌市こども人形劇場館長</p>	
利用者説明会 12月11日	・施設利用、劇団育成支援事業について ・公演スケジュール調整

昨年度に実施された大規模改修工事により入替となった設備については、委託業者も代わり、担当業者と綿密な打合せを行い日常的なメンテナンスを行った。

第三者に対する委託業務等の管理については適切に行われていることから、今後も継続して、施設の良い維持管理に努めること。

運営協議会を設置し、委員の方へ事業実施状況等の報告を行い、施設運営についての意見交換を行った。

利用者説明会では、施設からの連絡や、利用者から生の声を聴くことにより、ニーズの把握や相互理解について改めて確認する有意義な場となった。

運営協議会や利用者説明会を実施し、利用者のニーズ把握に努めており、評価できる。また、有識者からの意見も取り入れることで、事業の充実を見込むことができ、引き続き、関係機関との連携を図り、より良い施設運営につなげていくよう努めること。

	<p>▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 資金管理については、指定管理業務、自主事業ごとの区分経理を実施している。 ▼ 金銭等の取扱いについては、当財団が定める処務規定及び財務規程、金券等取扱要領に基づき、適正に経理事務を行った。 ▼ 当財団における内部監査の実施や、公認会計士による外部監査を導入している。 <table border="1" data-bbox="384 443 979 510"> <tr> <td>業務財務検査 3月11日</td> <td>・業務検査 ・財務検査</td> </tr> </table> <p>▽ 要望・苦情対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 「迅速・適切・真摯・平等」で「利用者の立場に立つ」対応を心掛けた。 ▼ 意見箱を設置し、日頃から市民の声を聞くことができる環境を整えた。(令和元年度については、意見箱への要望・苦情は無し。) <p>▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 業務実施に関する記録、帳簿等の整備、記録保管に努めている。(業務日誌、設備点検記録、事業記録、経理書類、現金出納簿等) ▼ 劇団及び観客、事業参加者に対し、アンケート調査を実施し、常に市民からの声に耳を傾けている。 	業務財務検査 3月11日	・業務検査 ・財務検査	<p>現金の取扱いについては、複数職員による確認を行い、金銭事故防止に努めている。</p> <p>札幌市による業務・財務検査を受け、業務改善に努めた。</p> <p>対応後は、職員間でその内容を共有し、原因分析を即座に行い苦情の低減に努めた。</p> <p>セルフモニタリングにより自己評価を行い、今後の事業運営に繋げた。</p>	<p>業務・財務検査の結果、記録・帳簿等の整備、保管、事業等の報告について、適正な事務処理がなされていることが確認された。</p>		
業務財務検査 3月11日	・業務検査 ・財務検査						
(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 職員の勤務時間を適正に管理するため「勤怠管理システム」を導入し、法令遵守に結び付けた。 ▼ 職員の健康管理に係る取組みとして、産業医を導入した。 ▼ 法令に基づき、時間外労働または休日労働させる場合の労使協定(36協定)を労働者と締結し、労働基準監督署に届出を行った。 ▼ 職員の勤務形態、家族状況等に応じて年金保険、医療保険に加入。また、必要に応じて適正に届出等を実施した。 ▼ 常勤職員のほか1年以上の有期雇用者に対して、1年に1回定期健康診断を実施したほか、再検査の費用負担を行った。 ▼ 正規職員を新たに雇用する際、現在の非正規職員から希望者を募り、内部登用試験を実施した。 ▼ 全ての労働者を労災保険に、条件を満たす労働者を雇用保険に加入した。 ▼ 法人として全ての常勤職員を対象にストレスチェックを実施した。 ▼ 業務内容に応じたシフト制勤務と、職員間連携を徹底することで時間外労働時間軽減に努めた。 	<p>労働関係法令に関する理解を深めるとともに、雇用環境の維持向上に向けた取組を行うことができた。</p>	<table border="1" data-bbox="1246 1061 1445 1093"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>労働関係法令順守のための取り組みが積極的に行われている。独自にストレスチェックを行うなど、雇用環境の維持向上に向けた取り組みも進められていることは評価できる。今後とも労働関係法令順守及び雇用環境の維持向上に努めること。</p>	A	B	C	D
A	B	C	D				
(3)施設・設備等の維持管理業務	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 日常的に点検を行い、常に最良の状態を保つよう管理した。また、職員間の情報共有により、危険個所の早期発見、事故の未然防止に努め、利用者の安全確保に繋げた。 ▼ 拾得物の取扱いについては、対応フローを作成し適正な取扱いを行った。 	<p>日常的に、適切な維持管理を行った。</p>	<table border="1" data-bbox="1246 1767 1445 1798"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>専門業者への再委託を含め、施設全体が良好に維持管理されている。</p>	A	B	C	D
A	B	C	D				

	<p>▼ 保険は管理業務仕様書にある内容を補償するものに加入し不測の事態に備えた。</p> <p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <p>▼ 再委託により実施する業務については、専門業者に依頼し、適切な監督と履行検査を行った。</p> <p>▼ 備品管理については、日常的に点検、清掃等を行い、故障が著しい備品については随時更新するなどし、維持管理に努めた。</p> <p>▼ 敷地内の植木植栽物については、美観の保持、安全面、近隣住民への配慮等の点から、適切な維持管理を行った。</p> <p>▼ 駐車場内での事故等に十分注意し、利用者以外の進入がないよう、車両の監視、誘導等に努めた。</p> <p>▼ 施設・設備等の不備や故障については、速やかに修繕を行った。</p> <p><修繕の実施></p> <table border="1" data-bbox="384 757 981 981"> <thead> <tr> <th></th> <th>修繕内容</th> <th>修繕完了日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>展示ケースガラス引戸修理</td> <td>4/24</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>断裁機修理</td> <td>5/21</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>美術工作室ドアガラス取替</td> <td>9/20</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>舞台段差補修</td> <td>10/9</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>除雪機修理</td> <td>12/26</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>舞台花道張出修繕</td> <td>3/28</td> </tr> </tbody> </table> <p>▽ 防災</p> <p>▼ 防災計画を策定するとともに、利用者及び職員の参加による防災研修及び訓練を実施した。</p> <p>第1回 9/11(参加人員24名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防設備の使用方法及び通報・消火・避難誘導訓練(外部講師) <p>第2回 3/24(参加人員6名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通報・避難誘導訓練 		修繕内容	修繕完了日	1	展示ケースガラス引戸修理	4/24	2	断裁機修理	5/21	3	美術工作室ドアガラス取替	9/20	4	舞台段差補修	10/9	5	除雪機修理	12/26	6	舞台花道張出修繕	3/28	<p>法令に基づき、点検・検査を実施し、施設機能の良好な維持管理を行った。</p> <p>日常的に、施設利用者に対しても利用上の注意や安全確認について留意するよう促した。</p> <p>昨年度実施された大規模改修工事により防災設備が更新となっているため、使用方法についてレクチャーを受け、不測の事態に備えた。</p>	<p>引き続き、市民サービスの向上及び施設の安全性に配慮した維持管理を行うこと。</p> <p>多くの子どもたちが利用する施設であるという施設の特性を踏まえ、防災研修・訓練等について、引き続き、日頃の備えを行うこと。</p>
	修繕内容	修繕完了日																						
1	展示ケースガラス引戸修理	4/24																						
2	断裁機修理	5/21																						
3	美術工作室ドアガラス取替	9/20																						
4	舞台段差補修	10/9																						
5	除雪機修理	12/26																						
6	舞台花道張出修繕	3/28																						
<p>(4)事業の計画・実施業務</p>	<p>▽ 児童文化の普及及び子どもの健全育成のための公演・展示会・講座等の開催に関する業務</p> <p>【公演事業】</p> <p>▼ 大規模改修工事に伴う長期休館を経て、再オープンを記念したりフレッシュオープンフェスを皮切りに、多くの市民に会場いただいた。札幌国際人形劇フェスティバルをはじめとした普段観ることができない海外や全国の劇団による公演事業を実施した。</p> <p>▼ 北海道の各地域に伝わる歴史を題材とし制作してきた「やまびこ座プロデュース人形劇」作品の一つである「OKHOTSK -終わりの楽園-」を欧州において上演する機会を得た。</p> <p>本作品は、2013年の初演以降、道内外で数多く公演を行い、人形劇という枠を超え演劇や切り絵、人形浄瑠璃、バロック音楽などが融合する「フィギュアシアター」という総合芸術作品として高い評価を得ており、ポーランドの劇団からの招へいをきっかけに、チェコ、ポーランド、スロバキアの3か国で上演を行った。さらに、チェコのプラハ国立芸術アカデミーからの依頼を受け、日本の伝統芸能である人形浄瑠璃のワークショップを授業の一環として実施。そのほかポーランドの人形劇フェスやスロバキアでも上演やワークショップを通じ日本文化を身近に感じてもらう機会となった。</p>	<p>道内だけでなく、広く全国・海外の人形劇団を招へいすることで、子どもたちをはじめとした市民が上質な作品に触れる機会を提供することができた。</p>	<table border="1" data-bbox="1248 1258 1439 1303"> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </table> <p>市民劇団による公演から、海外や全国で活躍する劇団の公演を広く実施しており、市内の子どもたちが身近に舞台芸術に親しむ機会を数多く提供しており高く評価できる。</p> <p>また、世界の有名劇場からの招へいを受け、公演を行うなど、札幌の児童文化のすばらしさを発信し続けている点についても評価できる。</p>	A	B	C	D																	
A	B	C	D																					

▼ 3月に実施予定であったプロデュース公演は、新型コロナウイルス感染予防の観点から臨時休館となり中止となった。やまびこ座で演劇の育成事業に参加していた、「東区市民劇団育成事業」を中心に、「劇☆やまびこ座YOUTH」・「遊劇舎」の子どもたちを加えた出演者と、プロの専門アーティストが協働で制作する作品で秋から士気を高めて制作をすすめてきた矢先であっただけに、モチベーションが落ちることのないよう支援策を練っていききたい。

主な公演	ステージ数	観客数
リフレッシュオープンフェスティバル	6	586
リフレッシュオープン記念特別公演	3	265
児童劇まつり	2	280
札幌国際人形劇フェスティバル (夏の特別公演を含む)	11	1,734
秋の特別公演 ～いぶし銀たちの競演	1	89
人形浄瑠璃2019	3	551
その他公演事業	150	10,244
計	176	13,749

【講座事業】

人材育成事業は、人形劇、児童劇、人形浄瑠璃を中心にこぐま座と連携して実施した。初心者のための人形劇講座のうち昼コースをやまびこ座で実施し、新規劇団の育成を行った。経験者のための人形劇講座は、これまでこぐま座で実施してきたが、今年度からやまびこ座でも開講し2拠点で展開した。東区市民劇団育成事業は、地域に根ざす市民劇団として児童劇の公演を実施した。また、人形浄瑠璃講習会、義太夫講習会については、「さっぽろ人形浄瑠璃芝居あしり座」と協働し、札幌における文化の担い手を育成した。

(延べ人数)

主な事業	回数	参加人数
札幌国際大学人形劇ワークショップ	1	42
初心者のための人形劇講座	29	182
経験者のための人形劇講座	40	274
東区市民劇団育成事業	21	236
人形浄瑠璃講習会	19	116
義太夫講習会	18	280
計	128	1,130

【子どもの舞台表現活動の推進】

子ども対象事業は、通年事業として伝統文化関連事業(ざ・にんぎょうじょうりユースクラス)、演劇関連事業(やまびこ座遊劇舎、劇☆やまびこ座YOUTH)を実施した。単発の体験事業としてはこども舞台体験プログラム「ふれアート」を実施し、専門の講師による舞台体験機会を実施した。

札幌市内の児童会館(7館)と連携し、人形劇クラブの指導及び育成を行った。各児童会館の子どもたちだけでなく、中心となって関わる児童会館指導員の専門性を高める指導者養成事業の側面もある事業となっている。

施設の根幹である、人材育成事業に注力した。この、人材育成を根幹とした取り組みは全国的にも注目されており、今後も子どもから大人まで、より多くの市民が関わっていける受け皿を構築することで、札幌の文化の将来を担う人材育成へとつなげていく。

各事業に参加した子どもたちが、生き生きと舞台表現活動に取り組み成果をあげている。他都市での実施や、他施設へと拠点を増やすことにより、人形劇の裾野を広げることにつながっている。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から一部の公演が中止となったことは残念だったが、関係劇団等との連携を図りながら、新しい生活様式に沿った事業を展開すること。

市内の子どもたちに安定的かつ魅力的な公演を提供し続けるために、人材育成事業は重要な事業のひとつであり、これまでも多くの市民劇団を育成し続けているのは高く評価できる。引き続き、地域に根差した、新規劇団の育成を継続すること。

子どもが人形劇等の舞台芸術等に触れるきっかけとなる体験プログラム事業及び児童会館での人形劇指導は人形劇の裾野の拡大において有意義である。加えて、より本格的に人形劇等の制作等を学ぶことができる通年事

(延べ人数)			
	講座名	回数	参加人数
1	やまびこ座遊劇舎	33	484
2	劇☆やまびこ座YOUTH	34	498
3	ざ・にんぎょうじょうり ユースクラス	18	194
4	こども舞台体験プログラム 「ふれアート」	3	211
5	人形劇クラブの指導・育成	98	1,042
	計	186	2,429

【地域との共生および関係機関との連携】

地域連携事業の「元町北小学校アウトリーチ事業」では、地域小学校への指導者派遣、「砂川人形劇指導」など、他施設への人形劇等の指導を実施した。また、地域の町内会や企業、団体と連携し「やまびこ座夏まつり」を実施した。地域に愛され地域に根付いた施設として、今後も地域組織と協働して事業を実施していく。

サッポロファクトリーで実施された札幌市子どもの権利条例10周年記念イベントにおいて、巨大人形劇「ピノキオ」を上演し、やまびこ座・こぐま座両劇場で実施している育成事業に参加している子どもたちの活躍の場を作り、広く施設のPRIに繋げることができた。

▼ 劇場の公演活動の充実や劇団支援、地域連携の活性化を目的として協賛金を募る「事業サポーター制度」を実施し、11件の個人協賛と、2件の企業協賛を得ることができた。(やまびこ座、こぐま座)

▽ 子どもに関わる舞台活動の拡充に関する情報収集・調査研究・立案及び提供に関する業務

▼ 札幌市内及び北海道内における児童文化関係団体や人形劇協議会等の活動調査、全国の公立人形劇場、児童文化活動の調査を行い、広い視野に立った子どものための舞台活動の研究に努めた。また、関係機関の情報収集を行い、資料の整理を随時行い市民からの要望に応じ、情報提供できる体制を作った。

▼ 被災地支援活動を継続実施した。5月のゴールデンウィークにやまびこ座・こぐま座にてチャリティー公演を実施し、9月、12月、2月には福島県内各施設(幼稚園、保育園、公共施設、仮設住宅等)にて人形劇、人形浄瑠璃の公演や人形劇の体験会、地域交流イベントを実施した。また、今後も両劇場ができる人形劇や子どもの遊びを中心とした文化活動が、少しでも子どもたちの心のケアや人々や地域の活性化につながっていくよう、継続文化支援として息の長い活動を行っていく。

▼ プロデュース人形劇・北海道の創作人形劇「奇跡の庭～じかん島のひみつ」の巡回公演を実施した。北海道の地域に伝わる民話などを題材とすることで、子どもたちに郷土の歴史や文化への理解を深めてもらう機会となった。

(実施日:10月～1月、市内児童会館8館 600人)

これまでの実績の積み重ねにより、地域連携事業や関係団体・機関との協働に繋げることができた。

市民と共につくる劇場、地域に根差した劇場運営の観点から、一定の成果が表れていると捉え、今後もこの取り組みを継続、強化していく。

劇場で活動する市民劇団の協力を得て、人形劇を被災地に届けることができた。文化支援を通して、子どもたちを笑顔にすることが、周囲の大人の活力となり、コミュニティの支援につながっている。また、支援する側にとっても、自分たちの取り組みが持つ、社会的意義につながっていることを実感する機会となっている。

様々な理由により劇場に足を運ぶことができない子どもたちが、児童文化に触れる機会、体験機会の創出につながることができた。

業は、青少年の健全育成として相応しく、評価できる。

引き続き、地域と連携した多くの行事を通じて、子どもから大人までの多くの市民が劇場に集い、地域に開かれた親しみある劇場でありつづけること。

関係団体等の調査や情報収集、資料の公開等、舞台活動の拡充に取り組まれており、評価できる。

引き続きプロデュース人形劇をはじめ、市民ニーズを捉え、人形劇文化の発信に努めること。

	<p>▽ 劇団育成支援に関する業務</p> <p>▼ 劇団支援策として「札幌市こどもの劇場やまびこ座支援事業」を実施した。各劇団のホール・研修室・美術工作室・会議室利用について、使用料の一部を負担した。 ※申請件数114件、利用区分件数196件</p> <p>▼ 12月に利用者説明会を開催し、劇団側からの要望を直接聞く場となった。</p> <p>▼ 市民ボランティア登録者が20名。読み聞かせ、公演時の受付・会場整理補助、公演前後のパフォーマンス、夏まつり等の事業運営スタッフとして活躍いただいた。</p> <p>▽ 人形劇等に関する指導、相談業務</p> <p>▼ 人形劇、演劇等の制作のための技術的指導ができる職員を配置し、日頃から人形劇、児童劇等について、指導、助言ができる体制づくりに努めた。公演時や稽古時等において適宜アドバイスをを行い、劇団と協働してより良い作品づくりを目指した。また、各種講座等を実施し、より多くの市民の方々が児童文化に携わり、担い手として活躍できる環境を整えた。</p>	<p>劇団の育成のため、今後も継続して支援活動に取り組んでいく。利用者説明会を実施し、劇場と劇団で思いを共有することができた。</p> <p>公演に向けての練習やりハーサル、製作など、普段からアドバイスを継続的に行うことで劇団側と信頼関係を築き上げ、より良い作品創造に繋げることができた。</p>	<p>子どもたちに魅力的な舞台芸術の鑑賞機会を提供するためにも、劇団育成は極めて重要であることから、劇団と連携しながら、育成支援を継続すること。</p> <p>市民ボランティアとの協力関係が構築されており、共にサービスの向上に努めていることは評価できる。引き続き、やまびこ座にしかできない継続性のある専門的な指導に取り組むこと。</p>																																																																																																								
(5) 施設利用に関する業務	<p>▽ 利用件数等</p> <p>▼ 公演回数・観客数 (回・人)</p> <table border="1" data-bbox="383 958 976 1182"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30実績</th> <th>R1計画</th> <th>R1実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上演回数</td> <td>96</td> <td>200</td> <td>175</td> </tr> <tr> <td>出演者数</td> <td>5,519</td> <td></td> <td>8,669</td> </tr> <tr> <td>観客数</td> <td>8,513</td> <td></td> <td>13,749</td> </tr> <tr> <td>上演1回当たりの観客数</td> <td>89.0</td> <td></td> <td>79.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>▼ 室別利用状況 (件)</p> <table border="1" data-bbox="383 1308 976 2049"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H30実績</th> <th>R1計画</th> <th>R1実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">ホール</td> <td>件数(件)</td> <td>269</td> <td>700</td> <td>509</td> </tr> <tr> <td>人数(人)</td> <td>14,032</td> <td>28,000</td> <td>22,418</td> </tr> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>73.1</td> <td></td> <td>65.8</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">会議室</td> <td>件数(件)</td> <td>187</td> <td>400</td> <td>270</td> </tr> <tr> <td>人数(人)</td> <td>1,884</td> <td>2,000</td> <td>2,825</td> </tr> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>50.8</td> <td></td> <td>34.9</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">研修室</td> <td>件数(件)</td> <td>227</td> <td>550</td> <td>434</td> </tr> <tr> <td>人数(人)</td> <td>4,856</td> <td>7,600</td> <td>5,834</td> </tr> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>61.7</td> <td></td> <td>56.1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">美術工作室</td> <td>件数(件)</td> <td>255</td> <td>550</td> <td>484</td> </tr> <tr> <td>人数(人)</td> <td>3,996</td> <td>7,000</td> <td>5,172</td> </tr> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>69.3</td> <td></td> <td>62.6</td> </tr> <tr> <td>ロビー等</td> <td>人数(人)</td> <td>3,526</td> <td>10,000</td> <td>8,085</td> </tr> <tr> <td>研修見学</td> <td>人数(人)</td> <td>1,920</td> <td>400</td> <td>132</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">合計</td> <td>件数(件)</td> <td>938</td> <td>2,200</td> <td>1,697</td> </tr> <tr> <td>人数(人)</td> <td>30,214</td> <td>55,000</td> <td>44,466</td> </tr> </tbody> </table>		H30実績	R1計画	R1実績	上演回数	96	200	175	出演者数	5,519		8,669	観客数	8,513		13,749	上演1回当たりの観客数	89.0		79.0			H30実績	R1計画	R1実績	ホール	件数(件)	269	700	509	人数(人)	14,032	28,000	22,418	稼働率(%)	73.1		65.8	会議室	件数(件)	187	400	270	人数(人)	1,884	2,000	2,825	稼働率(%)	50.8		34.9	研修室	件数(件)	227	550	434	人数(人)	4,856	7,600	5,834	稼働率(%)	61.7		56.1	美術工作室	件数(件)	255	550	484	人数(人)	3,996	7,000	5,172	稼働率(%)	69.3		62.6	ロビー等	人数(人)	3,526	10,000	8,085	研修見学	人数(人)	1,920	400	132	合計	件数(件)	938	2,200	1,697	人数(人)	30,214	55,000	44,466	<p>新型コロナウイルスの感染防止に伴う外出自粛や、2月末からの臨時休館の影響により、利用件数は目標に届かない結果となった。今後、開館できるとしても、感染症対策は必須となることから、多くの市民に来館いただけるよう知恵を絞っていく。</p> <p>施設利用区分件数による、おおよその割合は、人形劇：児童劇＝2:1となった。人形劇だけでなく、児童劇や伝統文化の分野の施設利用も拡がりを見せており、子どもたちに対し、良質な文化に触れる機会を提供することができた。</p> <p>昨年度と比較して、稼働率の低下が顕著である。新型コロナウイルス感染症による影響もあるが、全体的に利用件数が減少している。稼働率を上げるため、利用促進に注力していく。</p>	<table border="1" data-bbox="1251 878 1439 913"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため臨時休館せざるを得ない状況はともな残念だったが、引き続き市民サービスの拡充をはかるとともに、公演の魅力を増加させ、さらなる利用拡大に努めること。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため臨時休館せざるを得ない状況はともな残念だったが、引き続き市民サービスの拡充をはかるとともに、公演の魅力を増加させ、さらなる利用拡大に努めること。			
	H30実績	R1計画	R1実績																																																																																																								
上演回数	96	200	175																																																																																																								
出演者数	5,519		8,669																																																																																																								
観客数	8,513		13,749																																																																																																								
上演1回当たりの観客数	89.0		79.0																																																																																																								
		H30実績	R1計画	R1実績																																																																																																							
ホール	件数(件)	269	700	509																																																																																																							
	人数(人)	14,032	28,000	22,418																																																																																																							
	稼働率(%)	73.1		65.8																																																																																																							
会議室	件数(件)	187	400	270																																																																																																							
	人数(人)	1,884	2,000	2,825																																																																																																							
	稼働率(%)	50.8		34.9																																																																																																							
研修室	件数(件)	227	550	434																																																																																																							
	人数(人)	4,856	7,600	5,834																																																																																																							
	稼働率(%)	61.7		56.1																																																																																																							
美術工作室	件数(件)	255	550	484																																																																																																							
	人数(人)	3,996	7,000	5,172																																																																																																							
	稼働率(%)	69.3		62.6																																																																																																							
ロビー等	人数(人)	3,526	10,000	8,085																																																																																																							
研修見学	人数(人)	1,920	400	132																																																																																																							
合計	件数(件)	938	2,200	1,697																																																																																																							
	人数(人)	30,214	55,000	44,466																																																																																																							
A	B	C	D																																																																																																								
新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため臨時休館せざるを得ない状況はともな残念だったが、引き続き市民サービスの拡充をはかるとともに、公演の魅力を増加させ、さらなる利用拡大に努めること。																																																																																																											

	<p>▽ 不承認0件、 取消し0件、 減免0件、 還付0件</p> <p>▽ 利用促進の取組</p> <p>▼ 主催事業、主催公演の際、他の公演、事業への呼びかけを行い、宣伝等に努めた。</p>	<p>使用承認については、条例に基づき適正に処理を行なった。</p>									
(6)付随業務	<p>▽ 広報業務</p> <p>▼ホームページのアクセス数は57,787件で、前年度比(53,261件)110%という結果になった。また、新規アクセスは60%、再アクセスは40%であった。ウェブアクセシビリティを考慮し、誰もが利用しやすいホームページ作成を目指した。</p> <p>▼希望者にはメール通信を発行し、主催事業などの広報を行った。</p> <p>▼公式SNS(Twitter、Facebook、Instagram)によるリアルタイムでの情報発信を行った。</p> <p>▼定期的に(年6回)こどもの劇場通信(公演情報、事業案内等)をこぐま座と共同で発行し、市内公共施設、関係機関、児童会館等、及びやまびこ座近隣小学校4校へ配布した。また、公演ごとに来館者へ配布した。</p> <p>▼札幌市イベント情報に毎月公演・事業情報を掲載した。</p> <p>▼公演情報を各報道機関等に提供する等、宣伝活動に努めた。また、チラシ・ポスターを作成し、市民への配布のほか、地下鉄駅や劇場館内への掲示を行い周知を図った。</p> <p>▼(公財)さっぽろ青少年女性活動協会発行のさっぽろ・こども情報誌「あそぼ」に、公演情報を毎号掲載した。(年6回発行)</p> <p>▽ 引継ぎ業務 (前期からの継続指定のため、引継ぎ業務無し)</p>	<p>広報活動は、劇場業務の中でも重要な役割を担っており、観客数等の利用人数に直結するものである。</p> <p>今年度は、ホームページのリニューアルにより、スマートフォン対応等の改善を図ったことにより、アクセス数は伸びたが、観客数に結びついている実感は少ない。時代に即した広報ツールの活用等の改善を実行していく。</p> <p>広報をテーマにしたプロジェクトのワーキンググループを組織し、より多くの市民に来館いただけるアクションを起こしていく。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"> 利用者のニーズに合わせ、あらゆる広報手段を活用して、積極的に情報発信をおこなっている。引き続き、紙媒体、ホームページ、SNS、メール通信それぞれの強みを活かした情報発信の手法を検討し、効果的な広報活動に努めること。 </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	利用者のニーズに合わせ、あらゆる広報手段を活用して、積極的に情報発信をおこなっている。引き続き、紙媒体、ホームページ、SNS、メール通信それぞれの強みを活かした情報発信の手法を検討し、効果的な広報活動に努めること。			
A	B	C	D								
利用者のニーズに合わせ、あらゆる広報手段を活用して、積極的に情報発信をおこなっている。引き続き、紙媒体、ホームページ、SNS、メール通信それぞれの強みを活かした情報発信の手法を検討し、効果的な広報活動に努めること。											

2 自主事業その他		A	B	C	D
▽ 自主事業					
<p>▼ 物品販売事業</p> <p>市民サービスの一環として、ハンドパペットやオリジナルグッズ等の販売を各人形劇公演時に実施。集客の一助やリピーターの確保等につなげ、公演の活性化を図った。</p> <p>実施期間:平成31年4月1日～令和2年3月31日 販売商品: ①ハンドパペット:金額 150円～700円 ②オリジナルグッズ・書籍:金額 50円～1,785円</p> <p>【販売実績】 ①ハンドパペット:販売個数 54個 売上額27,500円 ②オリジナルグッズ・書籍 :販売個数 210個 売上額92,200円 合計:販売個数 264個 売上額119,700円</p>	<p>販売商品の製作等、他団体の協力を得て実施し、市民から好評を得ている。反面、商品の固定化からか売上は伸び悩んでいる。今後は市民の声からニーズを察知し、商品開発を行う。</p>				来館者のニーズを取り入れながら、事業展開を行うこと。
<p>▼ 飲料販売事業</p> <p>劇場に公演観劇に来られる来館者や、稽古や舞台仕込みで利用される劇団利用者等に対して飲料(清涼飲料水)販売を行い、市民サービスの向上を図った。</p> <p>実施期間:令和元年12月1日～令和2年3月31日 販売商品:清涼飲料水 90円～160円</p> <p>【販売実績】 販売本数:清涼飲料水 1,005本 収入額:20,294円(使用料、電気代相当額)</p>	<p>飲料販売について来館者の声が多く寄せられており、今般、自動販売機を導入し好評を得た。売上金の一部を当財団のこども基金への寄付をいただき、劇場の公演活動の充実や劇団支援に繋げている。</p>				
▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等	<p>再委託、物品の調達等を行うにあたり、札幌市内の企業等を積極的に活用している。また、夏まつり事業において、近隣の福祉施設と連携し福祉施策への配慮に努めた。</p>				引き続き、市内企業及び福祉施設への配慮をおこなうこと。

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果

実施方法	観客用アンケート、利用者(劇団)アンケート、事業別参加者アンケートをそれぞれ作成し、平成31年4月～令和2年3月の期間で実施した。(※アンケート方法については、来館者へアンケート用紙を配付し回収。任意記名方式。)
結果概要	アンケート結果を集約し、利用者の意見、要望、苦情、ニーズ等を把握し、施設設備、業務等の改善に反映させるよう努める。なお、回収したアンケートについては、札幌市個人情報保護条例に基づき、取り扱いに十分留意し、保管整理している。
利用者からの意見・要望とその対応	<p>【観客用アンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回収2,031枚 ・回答者の年代は、子育て世代の20～40台が35%、小学生が17%と多いほか、偏り無く回答いただいた。 ・公演情報の取得方法としては、「友人、知人」の口コミが最も多く(32%)、次いで「劇場HP」(18%)、「チラシ・ポスター」(16%)であった。HPが昨年度よりポイント上昇しているのはリニューアルしたことも要因の一つと考えられる。 ・観劇環境については、職員の対応が99.9%、劇場の設備については99.2%がとても良い、良い、ほぼ満足している(「とても良い」「良い」「普通」の合計)との高い評価を得ることができた。 ・初めての来館者が31.3%で、他はリピーターである。中でも11回以上の来館者が16.9%と高い割合で回答いただいた。スタンプラリーや、たのしませ隊の活動による一定の成果があらわれている。 <p>【利用者(劇団)アンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回収27枚(回収率71.0%:公演実施38劇団中27劇団) ・支援体制(施設的环境、サポート体制)及び、施設サービス(利用のしやすさ、職員の対応、手続き)のすべての項目について、無記入を除き、全ての劇団から、とても良い・良い・ほぼ満足している(「とても良い」「良い」「普通」の合計)との評価を得ることができた。 ・劇場職員への感謝の言葉や、親切な対応に対する評価を多くいただいた。 <p>【事業別参加者アンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主催事業より、13事業(東区市民劇団育成事業、遊劇舎、劇☆やまびこ座YOUTH、こども舞台体験プログラム「ふれアート」3事業、プロデュース公演、風雲やまびこ城、初心者のための人形劇講座、人形浄瑠璃講習会、義太夫講習会、にんぎょうじょうりゆうリユース、ネヴィルトランターワークショップ)についてアンケートを実施した。 ・事業内容及び職員の対応や講師について、無記入を除き参加者の全ての方から、とても良い、良い、ほぼ満足している(「とても良い」「良い」「普通」の合計)との評価をいただき、満足度は高い。

全体的に総合満足度や職員の接遇に関して、高い評価をいただき目標を達成した。

施設の設備ハード面において、空調の温度や椅子の構造等多くのご意見もいただいている。今後も市民のニーズを把握し、観劇する環境をソフト・ハード両面で改善を図っていく。

情報を得た手段として知人からの口コミが最多であることから、様々な方法で発信している広報が万度に届いていない現実も明るみとなった。劇場の存在を知ってもらうため、時代に即した方法を検証していく。引き続き、一度来館した方が知人と再び足を運んでもらえる劇場づくりに努めていきたい。

劇団アンケートの結果から、職員の対応や支援体制について高い評価をいただいた。今後も引き続き、利用者や職員がよりよい関係を築いていけるよう支援していきたい。

一様に満足度は高く、ニーズに合致した事業展開と読み取れるが、記述欄には多くのアイデアやご意見をいただいている。職員・講師間での情報共有、検討を行い、より良い事業実施に繋げていきたい。

A	B	C	D
観客・利用者(劇団)・事業別参加者と3種類のアンケートを実施しており、それぞれのニーズを把握し、よりよい施設運営に反映させようと努力しており、評価出来る。			
アンケートの結果からは、観客、利用者、事業参加者のほぼ全てが職員の対応や事業内容に対して満足していることが分かる。			
これは指定管理者の努力の結果であると考えられる。引き続きサービス水準を維持するよう努めるとともに、少数の意見も拾い上げて、より良い施設となるよう努力すること。			

4 収支状況

▽ 収支 (千円)

項目	R1計画	R1決算	差(決算-計画)
収入	93,681	89,050	▲ 4,631
指定管理業務収入	93,431	88,910	▲ 4,521
指定管理費	45,388	45,388	0
利用料金	6,500	4,723	▲ 1,777
その他	41,543	38,799	▲ 2,744
自主事業収入	250	140	▲ 110
支出	90,079	89,683	▲ 396
指定管理業務支出	89,729	89,598	▲ 131
自主事業支出	350	85	▲ 265
収入-支出	3,602	▲ 633	▲ 4,235
利益還元	0	55	55
法人税等	0	0	0
純利益	3,602	▲ 688	▲ 4,290

▽ 説明

▼ 利用料金収入は、新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う臨時休館や、有料貸室利用の減少により計画時の収入には届かなかった。

▼ その他収入は、新型コロナウイルスの影響を受け減収となったが、札幌市からの補填により収入を確保することができた。

▼ 指定管理業務支出は、収支バランスを意識した計画通りの執行となった。

▼ 自主事業は、新たに来館者からの要望が多く寄せられていた自動販売機による飲料販売を行い好評を得た。利益還元は55千円であった。

A	B	C	D
新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館の影響で、利用料金は減ってしまったが、次年度、安定的な運営に向け、改善を続けること。			

<確認項目> ※評価項目ではありません。

▽ 安定経営能力の維持

▼ 当団体の財務状況等は、各事業実施時において収支バランス等を常に把握することで、将来へ向けた安定経営能力は選定時より向上している。

適 不適

▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応

- ▼ 各条例の規定に則り、全て適切に対応した。
- ▼ 情報公開請求はありません。
- ▼ 札幌市行政手続条例に基づき適正に処理を行っております。
- ▼ 協定に関する契約(第三者への委託、物品調達等)について、暴力団員や暴力団関係事業者を相手に契約を行わなかった。

適 不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>令和元年度は、やまびこ座とこぐま座を合わせた事業規模が1億円を超え、公的助成や共催事業負担金、指導料等の企画事業収益3千5百万程度の収入を上げることができた。やまびこ座は、一昨年度の大規模改修工事のための長期休館からのリフレッシュオープンフェスティバルを実施し、再開を心待ちにした市民が数多く訪れ、市民とともに幸先の良いスタートを切ることができた。また、計画から前倒しとはなったが、プロデュース事業における欧州公演や飯田人形劇フェスタへの派遣交流事業を共催団体からの強い要望もあり実現することができた。そして、こぐま座とともに中島児童会館と連携した取り組みとして、約半年間に渡る中島児童会館70周年記念事業をはじめ、資料室「M・A・S・O・B・O」を活用した事業の拡充などを精力的に実施。さらには北海道立文学館や子どもの権利条例10周年記念イベント等の外部関係機関からの依頼事業も多く、例年の人材育成事業に加え、非常に充実した一年であった。</p> <p>しかしながら、年度末に起こった新型コロナウイルス感染拡大は、2劇場にとっても大きな打撃となり、コロナ後の劇場の在り方や文化芸術の必要性を改めて考える機会となった。将来に向けて感染症と子どもの文化がどのように対峙していくべきか、どのように共存していくべきか、さらにやまびこ座、こぐま座それぞれの独自性をいかに創りあげていくかという課題を突き付けられたと感じている。</p> <p>①コロナ禍の影響により2月末から休館措置が取られ、目標数値である上演日数120日、上演回数200回、利用者総数55,000人にはいずれも届かなかった。結果、117日、175回の上演となり、利用総数は44,466人に留まった。特に、毎年継続してきた「プロデュース公演」が中止となったことは非常に残念な結果であり、参加者のモチベーションが落ちることのないよう支援策が急務である。</p> <p>②全国各地や海外公演等の多彩なプログラムを提供した「札幌国際人形劇フェスティバル」に加え、「巨大人形劇シリーズ」や「プロデュース人形劇巡回公演事業」等の創造型事業により子どもたちの積極的な体験機会を創出することができた。また、札幌市以外の飯田市や旭川市、福島県内などの他都市との連携した取り組みが充実したことは、やまびこ座、こぐま座のこれまで培ってきた子どものための専門劇場としての創造スキルや全国的なネットワークという強みを生かしたものであり、やまびこ座、こぐま座にしかできない特色とも言える。</p> <p>③収支状況については、文化庁補助事業を始め、国際交流基金より助成金等を獲得。(助成総額 2件 27,903,640千円)また、砂川人形劇指導業務、北海道立文学館、札幌市委託事業の子どもの権利条例10周年記念イベント、巡回公演上演収入等、事業収益獲得が非常に多かった年でもあった。関係団体との事業共催は一過性のものにならぬよう継続した取り組みを行っていく。(やまびこ座、こぐま座)</p>	<p>地域活動等事業</p> <p>1 夢と笑顔と人が集いあう劇場づくり 劇場という空間が特別なものではなく、地域に開かれた親しみある場として、子どもから大人まで多くの市民が集い合い、夢や笑顔を交わすことで生まれる創造的な取り組みを応援し、人や地域の活性化につなげる。</p> <p>施設運営等事業</p> <p>1 人形劇、児童劇等の裾野を広げていくための人材育成の取り組み 劇場の根幹である人材育成を柱に、時代のニーズに合わせ継続的かつ発展的な事業展開を図る。将来の札幌の文化発展を見据え、人形劇等の裾野を広げる事業を積極的に実施する。</p> <p>2 札幌の子ども文化の創造と発信による新たな可能性 子ども文化の創造・発信拠点としての中心的役割を担う。やまびこ座、こぐま座がプロデュースし、育成する劇団や専門アーティスト等との連携した取り組みによって、より良い作品の創造、普及に努める。また、国際交流や観光振興等を視野に入れた新たな取り組みによって、大きな可能性を秘めた事業展開につなげていく。</p> <p>3 やまびこ座、こぐま座、中島児童会館との連携による事業の拡充 やまびこ座、こぐま座、中島児童会館という歴史的価値の高い、貴重な3施設が連携を図り、子どものための専門施設として、より効果的な運営を実現する。それぞれの施設の持つ特性を生かしながら、子どもの健全育成を踏まえた人材育成事業や全学的なイベント事業等の拡充、特色ある事業内容を全国に向けて情報発信する。</p> <p>4 劇場スキルを生かした財源確保と効率的かつ効果的な運営 指定管理費と併せ、公的助成や民間資金の活用による発展的な事業展開を図る。また、劇場の専門スキルを生かした関係機関との事業連携や育成指導を積極的に図り、財源確保につなげる。</p> <p>5 子どもの文化施設としての社会的役割と使命 全国でも数少ない子どものための公立文化施設として、やまびこ座への期待は非常に大きい。文化力による社会的役割を明確にし、未来ある子どもたちの夢と可能性を広げていくことが劇場の使命と考える。</p>

④近隣小学校へのアウトリーチ事業や児童会館人形劇クラブの派遣指導等の人形劇文化の裾野を広げる事業、ボランティアの人材活用及び発掘、さらに海外留学生とやまびこ座で活動する子どもたちの国際交流事業、地域や関係機関からの要望を踏まえた地域貢献を積極的に行うことができた。地域の中の劇場の役割が見えた1年でもあった。

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>施設の維持管理、貸館業務、事業の実施、自主事業、及び施設の管理運営については全般的に適切な業務の執行がなされている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止を目的とした臨時休館のため、一部基準に届かない部分もあったが、人形劇を始め、演劇、伝統芸能、各種育成講座や被災地支援の文化活動など、幅広い事業展開をしており、札幌市の児童文化の拠点施設として、その普及・促進に取り組んでいると評価できる。</p>	<p>施設の設置目的を達成するため、今後とも制作団体の育成を行っていく必要があることはもちろんのこと、更なる利用者の増加及び収入の安定を図るため、引き続き市民ニーズを検証するとともに、より魅力的な創意工夫ある事業を展開していくこと。</p>